

3-9 将来へ向かって

1. 題材設定の理由

卒業を目前に控え、生徒たちは、自分を待ち受けている新しい出発に対して、様々な期待と緊張が続く毎日である。この時期こそ自分を振り返るのに最適である。中学3年間では様々な出会いや体験を通して多くのことを学んだ。中でも進路選択にあたっては、心揺り動かされる体験や悩み、苦しんだときに支えてくれた多くの方々との出会いがあったに違いない。こうした進路決定の過程を振り返り、書いたり語ったりする活動を通して、やがてやってくる新しい人生での様々な困難に負けない強い気持ちにつなげていきたい。

2. 指導のねらい

中学校生活を振り返り、互いの進路設計、進路決定までの努力を認め合い、新しい進路に向かって、自信と希望をもち、ひとりだちしていけるようにさせる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・進路決定までの「自分の歴史」をまとめておく。 ・個別相談（進路決定、進学就職指導、悩み）
本時	・3年間の中学校生活を振り返らせ、進路決定までの経過をたどらせる中で、自分の人生設計を確認させ、新しい進路に立ち向かっていく意欲を確かめる。
事後	・卒業式当日の最後の学級活動につなげる。

<説話例>

いよいよ卒業を迎え、進路が決定し、心はずませている仲間もいれば、受験を間近に控え不安な気持ちでいっぱいな仲間もいることだと思います。

ここでもう一度、自分の目標・目的を再確認しておきましょう。それは、これからみなさんが歩んでいく長い人生という道のスタートラインに、現在みなさんが立っているからです。「何のために高校へ行くのか」「就職先での自分の役割は何か」、これが薄れてしまっは、今までの進路に対する情熱が無になってしまうからです。

「わたしは、ぼくは、このように生きていくのだ。」という確固たる心構えをもつことが必要です。それに加えこの先、生じるであろう諸問題に対しても、自らの力でこれを乗り越えてほしいと思います。そして、将来の進路を真剣に考え、社会において、自分がめざすものは何かを見い出してください。

4月の入学、入社までの生活にも十分気をつけ、充実した生活が送れることを望んでいます。

これからがスタートだ！ ガンバレ！！

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・進路決定に至るまでを自分の言葉でつづることができる。	◎自分自身が進路決定に至るまでに特に心を動かされたことをまとめる。	・進路決定に至るまでの自分・仲間との関わりなどをたどらせる。	・資料 「生活記録作文」など
	課題：進路決定に至るまでを振り返り、将来に向かっての決意を固めよう。			
中心的活动	・進路決定に至るまでを交流し、多くの影響を受けてきたことを理解する。 ・これから先、心掛けていくことを資料から見つけ出し、考えをまとめることができる。	◎進路決定までに心を動かされたことを発表する。 ・仲間、親、先生との話し合いから。 ・進路情報や「高校一日入学」などで影響を受けた。 ・将来に就きたい職業があるので、最後まで夢をあきらめないためにもこの進路を頑張ってきた。 ◎卒業後、心掛けていくことを自分なりにまとめて発言をする。 ・これまでの取り組みを大切にしながら自分の夢を実現させていくことは、大切なんだ。 ・何か1つのことに打ち込むことが必要だ。 ・将来のために今やらなければならないことを明確にして、努力をしなければならない。	・仲間の様々な考え方に賛同できるよう助言する。 ・資料から、主人公の決意を見つけ出せるよう助言する。	・P.58の資料または生き方に関わる感動的な資料を選んでいきたい。
まとめの活動	・自分の決意、生き方についての考えを盛り込んで、仲間へのメッセージを書くことができる。	◎卒業にあたってのメッセージを書いてみる。 間近にせまっている卒業に向けて、どうしていけばいいのかまとめる。 ・わたしは○○になりたい。しかし、今のわたしは……だから～していきたい。	・具体的に誰にあてて書くのかを決めさせておく。 (保護者、兄弟、友達、後輩……)	